Ⅰ－5．南西諸島の在来野菜の収集
―ウリ科ほか―，1986年

野菜・茶業試験場　野菜育種部　育種第２研究室
五　十　嵐　勇

１．目的

南西諸島を中心とする我が国の亜熱帯地域には従来，交通機関が発達していなかったことから，独特の地域品種・系統が変化を受けずに残っている。しかし，これらも近年の交通機関の発達や近代的な市販品種の普及とともに除々に失われてきている。これら品種・系統は亜熱帯地域に対して極めて優れた適応性を持っており，これら遺伝資源の収集・保存が急務であった。そのため今回，沖縄県の南西諸島に渡り，これら在来品種・系統の間取りを行うとともに，収集・保存を行う。

２．経過

探索に好適な時期については沖縄農試園芸支場と打ち合せた結果，多くの作物で開花・結実の見られる11月を選んだ。探索の実行は下記の探索，収集日程表のとおりで，11月18日に出発，11月19日～22日に探索・収集を行った。探索・収集は沖縄農試園芸支場と熱研沖縄支所の全面的な協力を得て，石垣島，与那国島，波照間島で行った。

３．収集成果

表２のとおりの13品種・系統を収集した。

収集した各種作物の特性について，和種カボチャのシマカボチャはうどんこ病，疫病のほか，ウイルスにも抵抗性が優れ，シロウリのマウリは貯蔵性が優れるとされている。カラシナやチョウメイグサは夏期の沖縄では台風後にすぐに収穫できることから利用されている。ナスのシロナスは耐暑性に優れ，ナスノメイガにも抵抗性を持っている。香菜は香辛料の一種として料理によく利用されている。材料の今後の取り扱いについては，遺伝資源としての保存と特性調査を行うとともに，農林水産ジーンバンクへの種子の受渡しを行う予定である。

４．所感

今回のような短期の探索，収集事業では離島の多い南西諸島の遺伝資源収集は十分行えたとは言えない。今後，より長期での収集事業が必要である。

協力研究機関等

沖縄農試園芸支場及び熱研沖縄支所

表１．探索・収集日程表（沖縄県，1986）

月　日	旅　　程	行　動　内　容
11月18日 (火)	津――大阪（空港）――那覇着	沖縄農試園芸支場訪問
11月19日 (水)	那覇――石垣	熱研沖縄支所及び沖縄農試 八重山支場訪問
11月20日 (木)	石垣発――波照間	地元の有力者を訪問
11月21日 (金)	波照間――石垣――与那国着	与那国町農協訪問
11月22日 (土)	与那国――石垣――那覇	空路移動
11月23日 (日)	那覇――大阪――津	空路移動

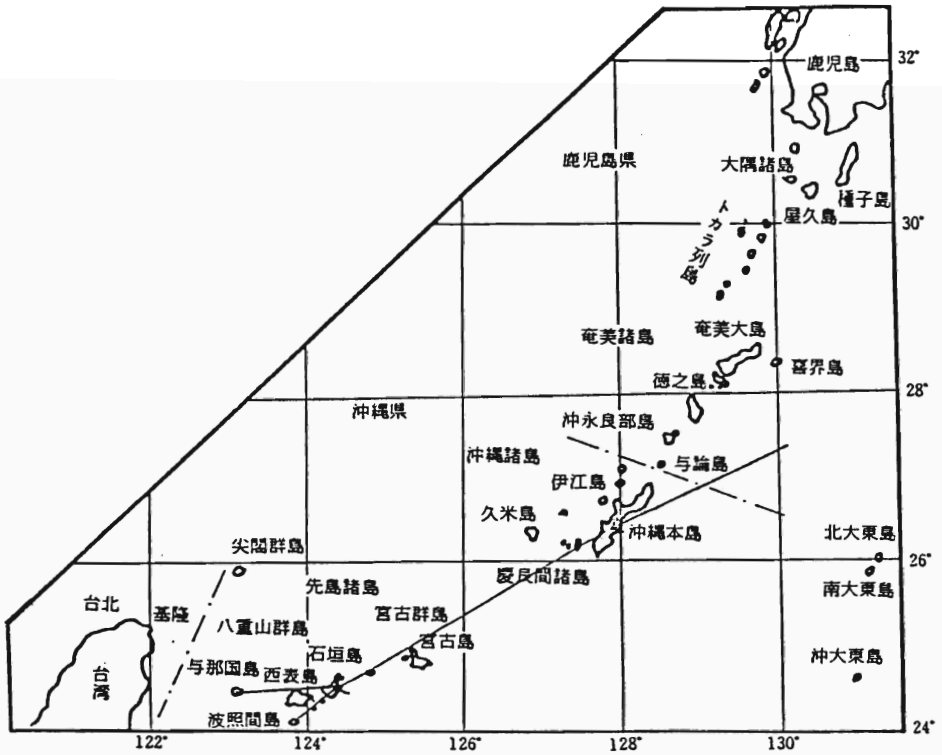

図１．南西諸島及び探索収集関連地図

表2．収集材料現地記録表（南西諸島，野菜　1986）

収集番号	作　物　名	属　　種　　名	現地名及在来種名	採集月日
	ナス	*Solanum giganteum*	不祥	61.11.19
	シロウリ	*Cucumis melo var. conomon*	マウリ	〃
	カボチャ	*Cucubita moschata*	シマカボチャ	〃
	カラシナ	*Brassica juncea*	カラシナ	〃
	ダイコン	*Ralhanus sativus*	シマダイコン	〃
	カボチャ	*Cucurbita mouchata*	シマカボチャ	〃
	トマト	*Lycoleroicum* sp.	不祥（野生しているトマト）	〃
	ボタンボウフウ	*Peucedaunum japonicum*	チョウメイグサ	〃
	カラシナ	*Brassica juncea*	カラシナ	〃
	ナス	*Solanum melogena*	シロナス	〃
	カボチャ	*Cucurbita mouchata*	シマカボチャ	〃
	〃	〃	〃	〃
	香菜	*Coriandrtm sativus*	香菜	11.21

採　集　地	特　記　事　項	備　考
石垣	熱研沖縄支所	African Holly
〃	熱研沖縄支所・登野城氏	
〃	〃	
〃	〃	
〃	〃	
波照間		
〃		
石垣	農試・八重山支場	
〃	〃	
〃	〃	
〃	〃	長形
〃	〃	味のよいもの
与那国		